

◆基本設計ワークショップ⑤意見発表まとめ

当日の意見交換会のあとで各グループの代表者の方に意見発表していただいたものをまとめたものです。〈〉内はグループ名、「→ゴシック体(太字)」は事務局の回答です。

【外構、配置計画】

防災に関すること

- ▼災害時の運用として、冒頭の設計者の説明のほかに、ロータリーや救急の底の下に仮設のテントを設置したり、トリアージエリアを赤・黄・緑に区分することなども考えられるとのこと。〈Bグループ〉
- ▼ヘリポートを設置しないのなら、常滑中学校では遠いので将来施設用の空スペースを利用できないか。〈Bグループ〉
 - ヘリポートの新設には、消防本部より運輸局を通じて国土交通省の許可を得る必要があり、その際は、ヘリの進入平面に構造物がない空域が必要であるなどの厳しい条件もあります。しかし、病院の近隣にヘリポートは必要だと考えますので、常滑中学校を含め将来施設用の空きスペースをヘリポートとして許可が得られるか検討していきます。
- ▼井水は周囲の状況から 150mほど掘れば出るそう。ろ過器などを通して飲料にする予定であり、井戸を管理する業者から水を買う形となるとのこと。〈Cグループ〉
 - 井戸にいては、災害時のことも含め掘る予定でいますが、病院で管理を行うのか、施設の設置・管理を含めて業者に委託して水を購入する形にするかにつきましては、コストの比較をしながら今後検討していきます。

その他

- ▼敷地内の薬局へは雨がかりなく行けると良い。〈Bグループ〉
 - 薬局につきましては、厚生労働省の通知により、「構造的、機能的、経済的に医療機関から独立していること」が求められていますので、医療機関の敷地内や建物内に計画することは難しいと考えます。また建築基準法上、建物は公道に面している必要があるため、新病院敷地が四方を公道に囲まれている形状であるため、民間の門前薬局は、道路を横断した向かい側の位置になってしまいます。
- ▼屋外で作業するボランティアの為に、屋外に面した手洗い場の設置をお願いしたい。〈Bグループ〉
 - 芝生や花壇の手入れなど屋外で活躍されるボランティアの方のための休憩室兼倉庫を屋外に設置します。

【1階フロア】

エントランス、コンビニなど

- ▼エントランスにコインロッカーを配置して欲しい（できれば保冷機能付きのコインロッカーとして、ベイシアで買い物したものを保管できるよ

- うに)。設置に費用がかかるのであれば、ベシアと協定して作ってもらったりはできないか。〈Aグループ〉
- 保冷機能付きのコインロッカーについては維持や管理を考えると病院側で提供することは難しいと考えます。スペースの問題はありますが、近隣の商業施設を含めて、ロッカーを扱う業者には、スペースを貸す形でいただいたご意見を提案してみたいと思います。
- ▼医事課受付カウンターには八千代病院のようにシャッターを設置して、シャッターを閉じることで、とこなめホールの利用時やエントランスでのコンサート時に病院らしくない雰囲気作りをして欲しい。〈A・Cグループ〉
- 医事課の受付についてはシャッターを設置し、また中央待合のイスを動かすなどコンサートが開催できる設えを検討いたします。病院らしくない雰囲気作りにつきましては、どのようなアイデアがあるかも含めて、第6回のワークショップの中でご提案ください。
- ▼コンビニで買った物を食べるスペースが必要。〈Aグループ〉
- ▼喫茶が単独での募集が難しいようであれば、コンビニとの壁を無くして店ではなく、自由に食べられるスペースとしてはどうか。喫茶が利用したい人は6階の外来レストランを利用してもらったり、そこから1階に運んでもらったりするのはどうか。〈Cグループ〉
 - コンビニや喫茶、情報ライブラリーといったアメニティに関してはそれぞれの配置やイメージも含め、第6回のワークショップの中でご提案をいただければと思います。
- ▼雨の日など傘はそこにおくのかという質問があったが、設計者より傘置場などは作らず、袋などで滴が垂れない工夫をするとのこと〈Aグループ〉
- 傘は頭の痛い問題です。傘につきましては、傘立てを設置するのであれば、鍵をつけるなど盗難防止の対策が必要ですが、鍵の紛失や、紛失による使用不可など問題があります。一方、傘袋の設置に関しても、滴を院内に持ち込ませないためにも傘袋の使用を外来患者に徹底することが必要ですし、患者が傘を持って院内を歩き続けなければならない問題もあるため、今後取扱いを検討していきます。

とこなめホール

- ▼とこなめホール利用者の中で車イスの方は、利用するトイレがホールからかなり遠い。近くに作って欲しい。〈Bグループ〉
- ご指摘はごもっともです。とこなめホールに一番近いトイレのまわりには救急や中央処置室など病院に必要な機能が多くのため、多目的トイレを確保するのは難しいと考えます(確保するためには、ボランティアステーションが狭くなります)ので、少し遠くなりますが、外来の多目的トイレ(ホール出入口から20m程度の距離)をご利用いただければと思います。

▼とこなめホールには、出演者の着替えをするスペースや講師の控室がない。ただ周囲は病院に必要な機能ばかりなのでボランティア室の隅や倉

庫を利用できないか。〈B・Cグループ〉

→病院が行う会議や講演等の講師の方々につきましては、開始までは、2階管理区域内の応接室でお待ちいただき、職員が会場まで案内することになると考えます。ホールに控室があるのが望ましいのですが、ホールのスペースを狭めてしまいます。病院での会議からコンサートまで、またトリアージエリアの一つとして有効に活用できるようにホールのスペースはなるべく広く確保したいと考えます。コンサートなどの出演者の着替えにつきましては、ボランティア室の隅に更衣スペース(デパートなどの更衣室をイメージして下さい)がありますので、そちらでお願いしたいと思います。

エレベーター

▼見舞客が病室に行くためには、一般用のエレベーターまで中央待合通っていくのでは、感染の心配がある。配置は変えることは難しいのなら、時間外の出入口から直接行くような配置は考えられないか。〈Bグループ〉

→中央待合を通ることで、感染を心配される方の動線につきましては、時間外の出入口からであれば、中央待合通らずに一般用のエレベーターまで行くことができます。

その他

▼授乳室は小児科の他にも時間外出入口の近くにあるとのことでしたが、できれば病棟にもあった方がいいのではないかと思う。〈Bグループ〉

→授乳室につきましては、小児科待合の他に、時間外出入口にもあります。病棟には設置しておりませんので、お見舞にみえた方で授乳室をご利用の場合は、そちらをご利用頂ければと思います。

▼院内に薬局が欲しい。院内処方か院外処方か選択できるようにしてほしい。障がい者は雨に濡れると大変である。〈Cグループ〉

→院内への民間薬局の配置につきましては、前述しましたように厚生労働省の通知により難しいと考えます。院内処方につきましては、対応できるように検討いたします。

【4、5階フロア】

病棟、病室

▼個室は急にドアを開けた時に室内が見えてしまうので、カーテンをつけて欲しいという意見に対して、設計者よりカーテンの設置をすることはできるとのこと。〈Aグループ〉

→入室の際は必ずノックをするなど職員に徹底させますが、個室のドアを開けた際に中が見えてしまうことがないようにカーテンの設置はいたします。

▼小児科病室には、ちょっとした洗い物ができるようなシンク等の設備を

整備して欲しいとの意見に対して、設計者より室内の手洗いで対応していただきたいと回答があった。〈Aグループ〉

→病室内に洗濯機などを設置するのは難しいです。個室にある洗面で対応し

ていただき、無理な場合はコインランドリーの利用をお願いしたいと思います。

▼グループ内で出た、患者は全てデイ食堂を利用するのかという質問に対しては、看護部長よりデイ食堂は、介助が必要な患者の食事をしたり、

お見舞いの人々が来た時に利用したりすること、また回復期リハビリテーション病棟に限っては主にデイルームで食事をしてもらう運用を考えていると説明があった。〈Aグループ〉

▼病棟の突き当りをデイコーナーにさせていただきたいが、病室に聞こえないように防音にすることも必要。〈Cグループ〉

→病棟突き当りのデイコーナーは災害時の避難経路や消火活動等で使用することがありますので、パテーションで仕切ったり、防音仕様の部屋とすることはできません。他の方に聞かれたくない会話をなさる場合は、スタッフにお声をかけていただければ、空いている面談室や宿泊室などをお貸しいたいと思います。

【6階フロア】

職員食堂、外来レストラン

▼現在、6階の調理コーナー（8人程度用）を設計されているが、恐らく10～12人程度が同時に調理することになるため、調理コーナーを少し広くとり、スタッフ用レストランを多少狭くすることはできないか。または保健センターの多目的ホールに設置し、使わないときは隠しておくようにはできないか。〈Cグループ〉

→6階の調理コーナーにつきましては、保健センターや栄養管理室が行うさまざまな事業で使用を考えていますので、保健センターや栄養管理室の意向を聞きつつ検討していきます。また多目的ホールへの配置につきましては、保健センターの職員の意見も聞きつつ第6回のワークショップにてご提案いただければと思います。

【その他】

設計以外に関すること

▼保健センター職員より休日診療の定点化を医師会を通じて検討していただきたいとの話があった。〈Cグループ〉

→休日診療の定点化につきましては、保健センターの職員より説明がありましたとおり、今後医師会を通じて検討していきます。